



みかんへの支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -



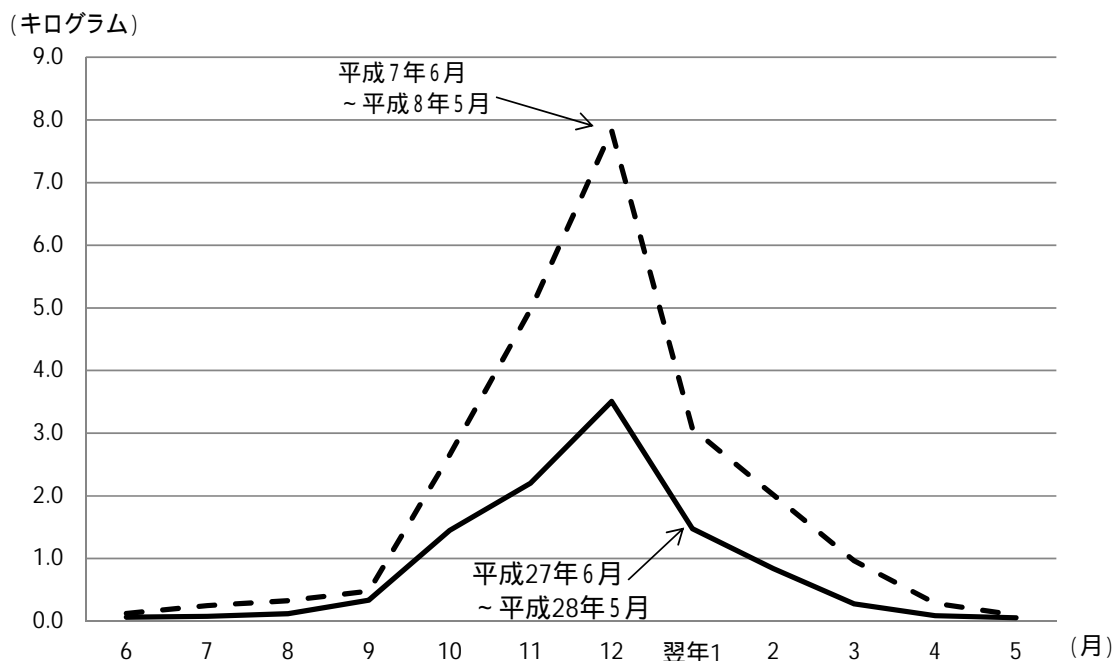
11月3日は「みかんの日」¹です。これからしだいに気温が下がってくると、こたつに入りながら「みかん」を食べるのが楽しみな方も多いのではないのでしょうか。そこで、今月は「みかんの日」にちなみ、「みかん」²への支出について、家計調査の結果を見てみましょう。

- 1 「いいみっか（3日）ん」の語呂合わせから、11月3日と12月3日を全国果実生産出荷安定協議会と農林水産省が制定しました。
- 2 家計調査結果の「みかん」は、温州みかんをいいます。

12月の購入が最も多い「みかん」、ただし20年前に比べて半分以下に減少

平成27年6月から平成28年5月までの1年間について、1世帯当たり月別購入量をみると、12月が3.5kgと最も多くなっています。しかし、20年前（平成7年）の12月（7.8kg）と比べると、購入量は半分以下となっています（図1）。

図1 みかんの月別購入量
（平成7年6月～平成8年5月・平成27年6月～平成28年5月）



注) 平成7～8年は農林漁家世帯を除く。

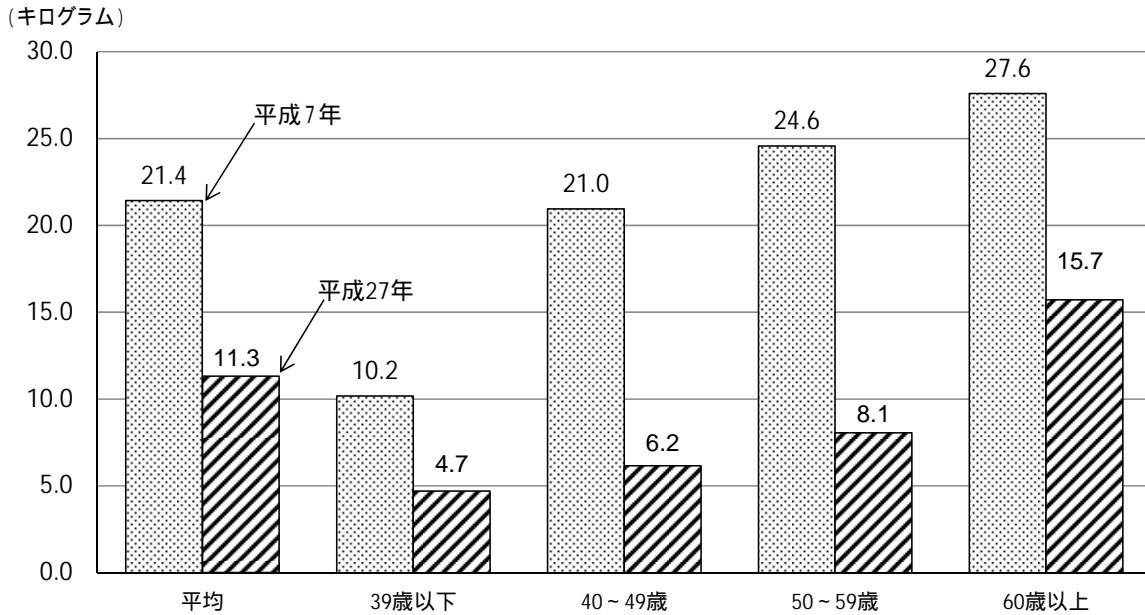
年齢階級が上がるほど購入量が多い



次に世帯主の年齢階級別に平成27年の1世帯当たり年間購入量をみると、世帯主の年齢階級が上がるほど、みかんの購入量は多くなっています。

しかし、20年前（平成7年）と比べてみると、各年齢階級とも減少しており、特に世帯主が40歳代の世帯及び50歳代の世帯では3割前後まで減っています（図2）。

図2 世帯主の年齢階級別みかんの年間購入量（平成7年・平成27年）



和歌山市、静岡市、松山市で多いみかんへの支出

最後に「みかん」の年間支出金額を都道府県庁所在市別にみると、和歌山市が最も多く、次いで静岡市、松山市の順となっており、みかんの産地³が上位を占めています（図3）。

3 農林水産省「平成27年産みかんの結果樹面積、収穫量及び出荷量」によると、都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が21%、愛媛県が16%、静岡県が13%となっており、この3県で全国の約5割を占めています。

図3 都道府県庁所在市別みかんへの年間支出金額（平成25～27年平均）

